

常時観測が必要な宮城県内の火山（蔵王山、栗駒山）に係る防災対策について

1 蔵王山に係る火山防災対策の推進

(1) 現状

イ. 蔵王山の活動状況

火山性地震の発生回数が増加（H23：3回，H24：1回，H25：211回，H26：214回，H27：6回（1/1～1/31まで））するとともに，火山性微動が平成25年に14回，平成26年に16回，平成27年（1/1～1/31まで）に1回発生するなど，火山活動の高まりがみられる。

ロ. 蔵王山火山防災マップ（平成14年3月作成）

蔵王山が噴火した場合に予想される火山活動の種類や噴火の大きさをもとに，災害の影響が考えられる区域を示すとともに，住民の噴火への備えや避難場所等を記載したもの。

【作成者：宮城県・白石市・蔵王町・七ヶ宿町・川崎町，山形県・山形市・上山市】

ハ. 蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会（以下「緊急減災検討委員会」）

蔵王山の噴火に伴い発生する土砂災害を軽減するため，ハード・ソフト対策からなる緊急時対策を効率的かつ効果的に実施する「蔵王山火山噴火緊急減災対策砂防計画」を平成26年度末までに策定予定。（計画には，噴火シナリオ，ハザードマップも掲載される。）

(2) 今後の進め方等

- ・最近の蔵王山の火山性地震等の発生状況等から，中心的な役割を担う関係機関による暫定的な防災対応策を検討していくため，山形県と共同で，蔵王山火山防災連絡会議（以下「連絡会議」）を平成26年10月に設置した。
- ・平成26年度は，緊急減災検討委員会において示された被害想定（ハザードマップ）の案もベースに，不測の事態に対応するため，当面使用する住民等への速やかな情報伝達や入山規制などについての具体的な取組を取りまとめることとしている。
- ・また，平成27年度は，防災対策の取りまとめや避難計画の策定，噴火警戒レベルの検討を進めることとしている。
- ・なお，現在の連絡会議の参加機関に火山専門家，東北地方整備局等を加え，平成27年3月に蔵王山火山防災協議会に移行することとしている。

2 栗駒山に係る火山防災対策の推進

(1) 現状

イ. 栗駒山の活動状況

火山活動に特段の変化はなし。静穏に経緯しており，噴火の兆候は認められない。

ロ. 協議会設立について

- ・栗駒山については，被害想定もなくハザードマップの作成が進んでいない状況。
- ・11月10日に開催された内閣府主催の火山防災協議会設置に向けた関係都道府県会議後に岩手，秋田，宮城の3県で協議を行い，平成26年度末に，規約による協議会設置を確認した。

(2) 今後の進め方等

- ・岩手，秋田，宮城の3県で協議を行い，平成26年度末に，協議会規約の承認を行い，協議会を設置することとしている。
- ・また，平成27年度は，協議会において費用負担のルール，検討内容の調整等を行う。